

令和4年度 事業判定結果報告

令和4年11月25日

志木市事業判定会

【 事業判定会 】

- 1 開催日時
令和4年11月12日（土） 午前10時00分～午後3時20分
- 2 ところ
志木市役所 1階市民ホール
- 3 対象事業及び概要

No.	担当課	事業名称及び事業概要	担当課の要求
1	都市計画課	シェアサイクル実証実験 地域の活性化や公共交通機能の補完・代替等の交通手段として、シェアサイクルの有効性及び課題を検証するため、民間企業と共同でシェアサイクルの実証実験を実施している。 (実証実験期間：令和2年8月から令和6年3月まで)	継続
2	産業観光課	チャレンジショップ事業 新たに創業したいと考える人を対象に、営業やマーケティングの経験の場として、中心市街地エリアの空きテナントや空き店舗を活用した、お試して開業を経験できるチャレンジショップを設置し、若者の創業と地域への定着を促進する。	新規
3	共生社会推進課	地域共生を目指すひきこもりサポート事業 医療機関未受診や就職氷河期世代で就職の機会を逸した等の理由により、これまで障がい福祉サービスを受けることができなかったひきこもりの人を支援する、ひきこもりサポート事業を実施するもの。 ひきこもりの人の「居場所づくり」、「相談支援」、「家族支援」、「社会参加支援」を包括的に行う事業であり、実施に際しては、既に精神障がい者の相談支援や就労支援に取り組んでいる障がい福祉事業者に業務を委託する。	新規
4	生涯学習課	秋ヶ瀬総合運動場スケートパーク整備事業 スケートボードが楽しめるよう初心者・初級者向けのスケートパークを秋ヶ瀬総合運動場に整備する。	新規

【判定結果 総括表】

事業判定会評価	事業数
担当課の要求どおりで良い	1
事業内容を一部見直す	3
事業内容を抜本的に見直す	0
担当課の要求を認めない	0

【判定結果 個別事業】

事業No.1 事業名： シェアサイクル実証実験
 担当課： 都市計画課

1. 判定結果

担当課の要求どおりで良い

2. 事業判定会コメント

利用実績が増加傾向にあることから、市民ニーズがあると考えられ、引き続き実証実験を継続すべきと考えます。

ただし、現状のまま本格実施へ移行するのではなく、現時点においても、利用状況データ等を用いて分析するとともに、現在の課題についても適切に対処し、その上で本格実施に向けた検証を行ってください。

また、市の土地を無償提供するという事は、市民のための施策であるべきなので、利用者はもちろん、利用していない市民からも幅広い声を聞きながら、事業者と連携してより良い制度構築を行ってください。

3. 自由意見

- ・市民の利便性も高まり、大変良い事業と思われませんが、今後本格実施を行う上で市の負担など分かりやすい判断の指標を設定する必要があると考えます。
- ・シェアサイクル未利用者に対してもアンケートを実施していただきたいです。
- ・近隣市とも意見交換をしっかりと行い、本格実施に向けて進めて行ってほしいです。
- ・アプリの利用に際してトラブルがあるとのことなので、問題解決をお願いしたいです。
- ・黒字化するためには、あとどれくらい利用が増えればいいのか知りたいと思いました。
- ・利用件数が増加しているデータを見ると、継続する方がよいと思いました。
- ・下宗岡～北朝霞駅間の利用者が非常に多く利便性があり、今後の利用増加に合わせてステーションと自転車を増加してほしいです。
- ・駅周辺の放置自転車の減少は、シェアサイクルの効果によるものなのか分析してほしいです。
- ・事業者任せになっている部分があると感じます。市の施策として実施するのであれば、もう一歩踏み込んだ関わり方がよいのではないのでしょうか。
- ・今後も継続していく上では、利用者を増やす試みが必要と考えます。
- ・現在の課題に対処した上で、検証を進めて今後の見通しを立ててほしいと考えます。
- ・市の土地を無償提供するという事は、市民のための施策であるべきなので、幅広い声を聞きながら、事業者と連携して事業を続けてほしいです。

事業No.2

事業名： チャレンジショップ事業

担当課： 産業観光課

1. 判定結果

事業内容を一部見直す

2. 事業判定会コメント

中心市街地を活性化させるという目的でチャレンジショップを設置することについては賛成しますが、事業者の開業支援のための事業としては予算規模が大きく、市の負担も大きいと感じます。

また、事業主体として想定するまちづくり会社については、運営状況が悪化した場合、多額の税を投入せざるを得ない事態も想定されることから、まちづくり会社を含めた運営については、最小限の予算で効率的な運営ができるよう、事業内容を精査してください。

3. 自由意見

- ・まちづくり会社が自立して経営ができる道筋を明確化させる必要があります。
- ・まちづくり会社が安定的に運営できるかの疑問が払拭できませんでした。
- ・本事業については、今後、チャレンジショップ事業だけでなく、まちづくり会社の運営に関する費用も市が負担することになることから、しっかりと運営される仕組みを検討する必要があります。
- ・空き店舗を減らし、チャレンジする場にしていくことは良いと思います。
- ・シェアサイクル等が増えれば、バスでは降りられなかった所へ自由に行きやすく、寄りやすくなると思うので、計画性を持ってしっかりと連携してもらいたいです。
- ・「まずやってみる」という精神で、市としてフォローをお願いしたいです。
- ・空き店舗を利用するなどの取組は素晴らしいです。
- ・住民がいるエリアの店舗は、近隣住民ともよく相談して、上手くやっていってほしいです。
- ・事業自体は利益がとてと厳しいと思うので、上手く運営していかないと経営を続けていくことは難しいと感じました。
- ・チャレンジショップに参加する業種の選定が非常に重要と感じました。
- ・事業の参加者については、1～3年の期間で市内に開業ができるよう、努力してほしいです。
- ・中心市街地新規出店支援センターについて、市との関わり方や役割をしっかりと検討してほしいです。
- ・出店する業種などについて、近隣住民の要望についても、しっかりと協議してほしいです。
- ・チャレンジショップという試みは、これから起業する方してみれば魅力的な施策だと思いますが、自立した運営をするための支援方法としては弱い部分もあると思います。また、チャレンジショップについても、補助金頼りで運営していくのでは、いつか必ず行き詰まると思います。
- ・これから作るまちづくり会社が肝となるので、設立にあたり、メンバーの選定や発言権、運営方法などを明確にしてほしいです。
- ・地域活性化を考えれば、若者のみではなく、シニア世代のバックアップにも注目してほしいです。また、中心市街地だけではなく、地元根付いた店舗についても注視してほしいです。
- ・事業の周知、募集、選定、支援について明確にし、参加者に対する公平性をしっかりと確保してほしいです。
- ・チャレンジショップ事業参加後の空き店舗への誘導も含め、しっかりとフォローをしてもらいたいです。

事業No.3

事業名： 地域共生を目指すひきこもりサポート事業
担当課： 共生社会推進課

1. 判定結果

事業内容を一部見直す

2. 事業判定会コメント

ひきこもりの方やその家族が相談できる場所や居場所づくりなど、支援の必要性は認識していますが、設置場所については、利用者の利便性や障がいの有無にかかわらず誰もが来やすい場所とするため、支援拠点となり得る障がい福祉サービス事業所がある志木駅前以外の場所についても検討が必要であると考えます。

また、施設の規模についても、利用状況に応じた広さとするなど、スタート時点から多額の予算をかける必要があるか、事業内容と合わせて精査してください。

さらに、志木市で推計される対象者が700人程度であるものの、現在把握している人数が14人であることを踏まえると、支援を必要とする人へのアウトリーチが大変重要であることから、事業実施にあたっては、障がい福祉サービス事業所、地域自立支援協議会（しきまる）や教育機関などさまざまな機関と連携を図り、より多くの人への支援機会の創出を図ってください。

3. 自由意見

- ・ひきこもりの人をいかに把握するかが大切だと思います。
- ・教育機関、高齢者や子育てに関する福祉機関との連携体制を構築してほしいです。
- ・相談しやすい体制や窓口の整備をお願いしたいです。
- ・事業は素晴らしい取組だと思います。アウトリーチをしっかりと行い、一人でも多く就労へとつながってほしいと思います。
- ・時間のかかる事業なので、はじめは志木駅前でも良いかもしれませんが、市内全体のことを考え、平行して新しい場所も考えてほしいです。
- ・多くの人に知ってもらうためのPRをしっかりと行ってほしいです。
- ・事業費の家賃部分について、事業が軌道に乗るまでは、現状の福祉事業所にお世話になるしかないのでは。
- ・生活保護を受けている若者にも対応できると良いと感じました。
- ・取組は大変ですが、頑張ってください。
- ・ひきこもりサポート事業は非常に良い取組です。
- ・対象者が推定700人の中で、どのように進めていくのか、家族会など幅広い連携が必要か。
- ・家族を含め広く相談ができる、門戸を広くした活動をしてほしいです。
- ・業務委託ということから、もう少し内容（予算）を再検討する必要があると考えます。
- ・予算の部分ですが、事業者からの見積額を分析のうえ、もう一度精査する必要があると感じました。
- ・現在の世の中に必要な施策だと思いますので、本事業は実現させてほしいと思います。
- ・継続的な支援が必要とのことですので、持続可能な方法で進めてほしいと思います。
- ・国の補助金500万円上限で1,000万円の委託（運営費）が妥当という話で、新しい場所を創出するのであれば、初期費用がかかるのは当然だと思いますが、今ある場所にその機能（相談機関）を附属するのであれば、それほど（今の予算ほど）はかからないのではないかと思います。
- ・対象の家族や本人が来やすいサロンのような場所を他市の事例を元に作る方が良いのではないかと思います。
- ・施策自体は素晴らしいことで、市がバックアップして進めてほしいですが、利用しやすさ、通いやすさは大切だと思います。気軽に立ち寄れるところにあるべきです。また、空き店舗バンクも活用して場所探ししてはどうかと思います。

事業No.4

事業名： 秋ヶ瀬総合運動場スケートパーク整備事業
担当課： 生涯学習課

1. 判定結果

事業内容を一部見直す

2. 事業判定会コメント

新たなスポーツの機会を創出するために、スケートパーク等のアーバンスポーツができる施設を整備することについては賛成できます。

しかしながら、担当課の提案は、施設整備後の具体的な管理運営方法についての想定が十分ではないことから、これらについて再検討を行った上で、施設の規模・内容等について見直しを行う必要があると考えます。また、提案ではテニスコート跡地の一部のみを活用して整備することとしていますが、現在不足している駐車場の整備等も含め、跡地全体の活用を検討する必要があると考えます。

さらに、秋ヶ瀬運動場施設における運用方法だけでなく、市全体のスポーツ施設の方向性や、アーバンスポーツの普及啓発の手法も含め、スポーツ施策としての総合的なビジョンを、さまざまな市民の声を拾い上げながら明確に示してください。

3. 自由意見

- ・スポーツ機会の創出、中でもアーバンスポーツの普及は理解ができるが、その中でスケートパークを整備する理由や今後の展開についてストーリーを作ることが大切であると思います。
- ・整備後のビジョンをしっかりとした上で、令和6年度以降に予算をしっかりと考えてほしいです。
- ・駐車場問題、夜間防犯対策、無断使用対策をしっかりと行ってほしいです。
- ・定期的に初心者教室を開催するのは良いことだと思います。
- ・料金の事も考えられていましたが、利用許可を証明するもの（ワッペンやバンド等）にもお金がかかるので、しっかり予算を考えてほしいです。
- ・駐車場を作るのであれば、スケートパーク専用にすることも検討が必要と思います。
- ・スケートボード以外にも色々なことにも使用できそうなので、プランをしっかりと立ててほしいです。
- ・施設を整備するだけではなく、現在利用料金のかからない、いろは親水公園等でスケートボードを行っている人たちが、有料施設となるスケートパークの利用をしたくなる方法についても、併せて検討する必要があると考えます。ただし、スケートパークについては、無料にしたほうが良いとは思いません。
- ・土手に建設するのであれば、水害対策と防犯はしっかり施したほうが良いと思います。
- ・管理体制（巡回）をしっかりとし、安全をキープしてほしいです。
- ・会場が遠いので、はたして人が集まるのか、特に子どもたちの交通安全を考えてほしいと思いました。
- ・駐車場問題を考えてほしいです。
- ・駅前やいろは親水公園で周囲に迷惑をかける形でスケートボードを行っている人たちについて、どのようにして解決していくのか検討してほしいです。
- ・色々なことができる可能性がある場所になると思うので、活用方法を限定せずに意見を拾いあげてほしいです。
- ・現在使用されていない跡地の活用は素晴らしいことですが、一部のみでなく、長期的に見て、全面的有効活用を希望します。